

ニッセイCSRレポートハイライト

みらいを創る 子どもたちのために



NISSAY

日本生命保険相互会社



みらいを創る子どもたちへ
「大切に生きよう」
「まわりの人を大切にしよう」

この冊子は当社のCSRへの取組のうち、
これまで長きにわたって続けてきた、
子どもたちを支える取組についてご紹介したものです。

目標に向かって、自ら考え行動する、自立心。
まわりの人を大切に思いやる心。
そんな豊かな心をはぐくみ、
みらいを自らの手で創ってほしいとの願いをこめて
当社は子どもたちのサポートを続けています。



CONTENTS

- P04 **Highlight 01**
震災を乗り越え、みらいを創る。
夢に向かって「ゴーへ」明日を広げよう。
～東日本大震災復興応援企画～
- P08 **Highlight 02**
自ら考え、行動し、みらいを切り開く。
社会に出るために知っておいてほしいこと。
～保険について学ぶ機会・教材の提供～
- P10 **Highlight 03**
次の世代につなげる責任。
森と一緒に子どもたちの豊かなみらいを。
～ニッセイ未来を育む森づくり～
- P12 **Highlight 04**
ほんものの持つ魔力に触れてほしい。
みらいにはばたく力。
～ニッセイ名作劇場～
- P14 **Highlight 05**
みらいのために、こころとからだを鍛える。
スポーツのすばらしさを子どもたちに。
～ニッセイスポーツ教室～
- P16 子どもたちを支える取組のあゆみ
- P18 社長メッセージ
- P19 会社概要

※各取組の実績数値は、平成25年1月末現在としております。



Highlight

01

震災を乗り越え、未来を創る。
夢に向かって「ゴーへ」明日を広げよう。
～東日本大震災復興応援企画～





前へ進む力

平成24年8月、被災した宮城県七ヶ浜町の子どもたちを中心とする市民劇団「NaNa (ナナ) 5931 (ゴーキューサンイチ)」が、震災からの復興をテーマとしたミュージカル「ゴーへ / Go Ahead」を東京の日生劇場で上演しました。この公演は、「被災地を支援してくれた県外の人たちに、復興への思いと感謝の気持ちを伝えたい」という子どもたちの願いをかなえるため、七ヶ浜で支援活動続けるNPOが呼びかけ、趣旨に賛同した企業・個人が無償で協力して実現したものです。「今こそ前に進もう！」という子どもたちのメッセージは、千名を超える来場者の心を動かしました。



仙台市から東に25キロ、人口約2万名の美しい松林や町並みで知られた七ヶ浜は、町の面積の約3分の1が津波の被害に遭いました。



「苦しい時こそゴーへ、悲しい時こそゴーへ、夢に向かってゴーへ！」子どもたちは復興への思いを歌に込め、精一杯表現します。

日生劇場での「ゴーへ」公演について

支援の輪がつながり、東京での公演が実現しました。当社は、会場・技術提供の他、その運営にも全面的に協力し、宮城県や日本経団連とともに、観劇による応援を広く呼びかけました。当日の公演は、出演者と観客、協力者の思いが一体となり、終演後のロビーは子どもたちに励ましや感謝の言葉をかける人たけで溢れました。

GO AHEAD

舞台では、津波によって失われたいのちがさまざまな生き物の姿となって遺されたものに語りかけ、明日への希望を届けます。タイトルの「ゴーへ」は、船を誘導するときに使われる地元の漁師言葉。避暑地として外国人が多く訪れたり、北洋漁業の発祥地ということから、英語の「Go Ahead (前へ進め)」がなまったものと言われています。劇団名の「NaNa」は七ヶ浜、「5931」は子どもたちが拠点とする文化施設「国際村」を表しています。



Highlight 01 震災を乗り越え、未来を創る。夢に向かって「ゴーへ」明日を広げよう。
～東日本大震災復興応援企画～



前に進みます
私たちが

子どもたちの小さな心の中は、はちきれそうな悲しみを抱えているはずなのに、舞台上では「前を向かなきゃダメだ」というセリフを自分に言い聞かせるように、はっきり高らかに語ってくれました。溢れんばかりの拍手と歓声で応えた来場者の気持ちは「逆に励まされた」のひと言に尽きると思います。子どもたちの懸命さに恥じないよう、私たち自身が前を向き、復興を息長く応援していかななくてはならないと痛感しました。

主催者代表 NPO法人レスキューストックヤード 栗田 暢之さん

VOICE

演じる子どもたち、支援する人、観る人。
それぞれの「ありがとう」。

七ヶ浜の子どもたちにとって、日生劇場での公演が、これからの人生においてかけがえない体験となったであろうことは、終演後の子どもたちの涙から察することができました。震災により宮城県は甚大な被害を受け、復興には長い年月がかかりますが、子どもたちが前向きに精一杯生きている姿を舞台を通して見ていただくことで、宮城県民ががんばっていることを県外の方々にも知っていただけたと思います。

伝えることができました
県民のがんばりを



宮城県東京事務所長 菅原 久吉さん



震災以来たくさんの人に支えられてきたことを、あらためて感じる事ができたのが、日生劇場での公演でした。初の県外公演に対する不安は、来場された方々のあたたかい笑顔ですぐに消えました。練習中につらいことを思い出す時もありましたが、本番では自分の思いや感謝の気持ちをしっかりと伝えることができました。私は「ゴーへ」の歌詞にあるような「恩にこたえられる、支える人」になりたいと思っています。

出演者 渡邊 里沙さん

支えられてきた私
これからは「支える人」に



来場者 益子 雅笛さん

みんなで創り上げた最良の舞台

たった1日で仕込み(搬入・組立)からばらし(片付け・搬出)までこなし、子どもたちのリハーサルの時間まで確保する。さまざまな障壁がありましたが、劇場スタッフのアイデアを集結し、最良の舞台を創り上げることができました。舞台成功の裏には、震災後の制約された環境の中での指導者のご尽力と、それに答える子どもたちの日ごとの鍛錬があったと思います。このような形で応援できたことを嬉しく思います。

日生劇場 技術部長 黒崎 守さん



子どもたちの笑顔を、
これからも

子どもたちの笑顔の裏には計り知れないほどの苦しみがあるはず。それでも何かに必死に取り組んでいる姿に胸を打たれました。この時間は彼らにとってかけがえのない宝物になることでしょう。微力ですが、これからも子どもたちが笑顔でいられるようなお手伝いをしていきたいです。

Highlight

02

自ら考え、行動し、未来を切り開く。
社会に出るために知っておいてほしいこと。
～保険について学ぶ機会・教材の提供～





将来を切り開くための
力を子どもたちに



「夏休み保険セミナー」(ライフプラザ高知)
保険の仕事体験はとても楽しかったです。
(のべ185カ所で開催、2,090名参加)



「受入授業」(当社丸の内ビル/東京都立戸山高校)
ライフプランやリスクについて学びました。
(累計で9校に実施、196名参加)



「出張授業」(大阪市立十三中学校)
いのちの大切さをあらためて認識しました。
(累計で7校に実施、602名参加)

子どもたちに自分自身の将来について考え、切り開いていく力を養ってほしいとの思いから、保険について学ぶ機会・教材の提供を行っています。平成21年から、小・中学生向けに保険に関するマンガ・教材の提供や、ニッセイ・ライフプラザでの小学生向け「夏休み保険セミナー」を実施し、さらに平成23年からは当社職員がフェイス・トゥ・フェイスで中・高生に語りかける「出張授業」や「受入授業」に取り組んでいます。



小学生向けマンガ「保険のひみつ」
保険の仕組みや役割をわかりやすく説明。小学校約2万3千校と公立図書館約3千館に寄贈。



中学生向け学校教材「わたしの未来設計図」
自分自身の将来設計を考える学校教材。
累計で約5,500校に対し、約93万部を提供。

みらいのために
今を大切にします

VOICE

授業で将来について考えてみて、自分の理想の仕事や家庭を実現させるために、今しっかり勉強しようと思いました。これからもっとESS部の活動で英語をがんばって、いつか声を使う仕事につきたいです。(北浦さん)

保険がとても身近になりました。また将来の新しい目標ができました。尊敬する父親のように、仕事に取り組み家庭を守って、自分の息子にハンドボールを教えたいです。(高田さん)

大阪市立十三中学校2年 北浦 仁保さん(左) 高田 亨弥さん(右)



Highlight

03

次の世代につなげる責任。
森と一緒に子どもたちの豊かなみらいを。
～ニッセイ未来を育む森づくり～





豊かな森を
子どもたちに
引き継ぐために



「ニッセイ飛鳥の森」育樹活動（奈良）
木の成長の妨げとなる草を刈り払いました。



「ニッセイ森の探検隊」（兵庫）
森の豊かな恵みと大切さを体感しました。
（累計で5回開催、215名参加）



「ニッセイ森の教室」（ライフプラザ長野）
間伐材を使った時計づくりに挑戦しました。
（のべ228カ所で開催、4,577名参加）

日本は、森林が国土の7割近くを占める「森の国」である一方で、十分な手入れがなされず、荒廃が進む森林もあります。当社は、豊かな森を守り、育て、次世代の子どもたちに引き継ぐことを願い、平成4年からニッセイ緑の財団とともに森づくりに取り組んでいます。植樹や育樹には、職員やその家族、地域の方々もボランティアとして参加し、環境意識の啓発にもつながっています。平成22年からは、子どもたちが自然と触れ合う機会を提供する「ニッセイ森の探検隊」や、ニッセイ・ライフプラザで森のはたらきを学ぶセミナー「ニッセイ森の教室」を実施しています。

全国に拡がる“ニッセイの森”

187カ所

ボランティア参加人数

2万9千名

東日本大震災被災地域での取組

震災以降、自然と触れ合うことで子どもたちに元気になってもらえればと、宮城県で森林体験教室を開催しています。これまでに97名を招待しました。



VOICE

「自然と私たちは共存しているんだなあ」あらためてそう感じました。植樹や、枝打ち、歩道づくりなど、時間を忘れて夢中で取り組み、自然の大切さを学ぶことができました。参加した帰り、息子はこう言っていました。「森づくりは大変だけどおもしろい！楽しいね！」被災地支援として、今後もさまざまな活動を続けてほしいと思います。

参加者 成毛雅子さん・土俵くん

自然と人との共存を
肌で感じました



Highlight

04

ほんものの持つ魔力に触れてほしい。
みらいにはばたく力。
～ニッセイ名作劇場～





生きていくうえで
大切なことを
伝えるために

次世代を担う子どもたちが夢と希望を持ち、情操豊かに育ってほしい。そんな願いを込めて、昭和39年から子どものためのミュージカル「ニッセイ名作劇場」を続けています。ニッセイ文化振興財団が主催し、当社が協賛、劇団四季が制作・出演するこの公演は、小学6年生を学校単位で無料招待し、これまで多くの子どもたちに感動を届けてきました。また、劇団四季が全国の小・中学生を対象に行う招待公演「こころの劇場」にもメインスポンサーとして協賛しています。本物の芸術を通して、いのちや仲間の大切さなどさまざまなメッセージを子どもたちに伝えていきます。



平成24年度上演作品「王様の耳はロバの耳」
真実や正義を貫くことの大切さを訴えました。
(撮影：阿部章仁)

招待児童数

762万名



客席と舞台が一体となって幕を閉じた舞台。
最後のお見送りで、子どもたちは出演者と笑顔を交わしていました。

公演回数

4,866回

子どもたちの
笑顔がはじけた
人形劇公演

東日本大震災被災地域での人形劇・クラシックコンサート開催

震災以降、岩手県・宮城県・福島県でニッセイ文化振興財団主催による人形劇・クラシックコンサートを開催しています。これまでに15公演を実施し、3,890名を招待しました。



VOICE

震災以来、外での活動が制限され、学校行事も中止や規模の縮小を余儀なくされ、子どもたちはさまざまな面で我慢を強いられました。そんな中での人形劇は全学年が心から楽しむことのできる演目であり、劇場に様変わりした体育館に、子どもたちのはじける笑顔が広がりました。公演後の給食での日生劇場や劇団の皆様との交流も、忘れがたい思い出となりました。

福島県郡山市立安積第三小学校 校長 立石 ひとみさん



Highlight

05

みらいのために、こころとからだを鍛える。
スポーツのすばらしさを子どもたちに。
～ニッセイスポーツ教室～





健やかな成長を願って
 こころとからだの



「野球教室」(佐賀)
 上手に投げられるようになりました。



「卓球教室」(愛知)
 フォームについて、優しく教えてくれました。



「卓球教室」(愛知)
 選手同士の試合はすごい迫力でした。

子どもの体力低下が社会的な問題となるなか、スポーツの重要性が再認識されています。子どもたちにとってスポーツは、体力向上に役立つだけでなく、チームワークの大切さを学ぶ、ルールやマナーを守るなど、世のなかで生きていくために必要なことを身につける機会にもなります。ニッセイ野球部・女子卓球部は、子どもたちが心身ともに健やかに成長してほしいとの思いから、全国各地でスポーツ教室を開催し、毎年約4千名が参加しています。

昭和4年に創部の野球部は、都市対抗野球大会の最多出場記録を持つ、伝統あるチームで、プロ野球選手も多く輩出しています。昭和29年に創部の女子卓球部は、国内4大会制覇を2回果たすなど、国内トップクラスのチームです。村上監督はロンドンオリンピックで女子団体チームの監督も務めました。

夢に向かって
 一歩を

VOICE

ロンドンオリンピックでは、卓球女子日本代表監督を務め、銀メダルを獲得しました。メンバーの平野早矢香、福原愛、石川佳純を天才だと伝えているのをよく耳にしますが、決してそうではありません。彼女たちがメダルを獲得できたのは、卓球に対する熱意を持ち、多くの努力をしたからなのです。夢に向かって一歩ずつ、前に進む子どもたちを、これからも応援していきます。

ニッセイ女子卓球部監督 村上 恭和さん



東日本大震災被災地域での取組

震災以降、スポーツを通じて子どもたちに笑顔になってもらえればと、被災地においてもスポーツ教室を開催しています。岩手県・宮城県・福島県で開催し、これまでに904名を招待しました。



子どもたちを支える取組のあゆみ

当社は、半世紀以上にわたり子どもたちを支える社会貢献活動を続けてきました。
さまざまな分野で、さまざまなかたちで時代を超えて、これからも子どもたちを応援していきます。

文化・スポーツ

● 昭和39年～ 「ニッセイ名作劇場」 公演開始

- 昭和38年「日生劇場」開場
- 昭和43年「ニッセイ名作劇場」が厚生大臣から「児童福祉文化賞」受賞
- 平成10年「ニッセイ名作劇場」招待児童数500万名達成
- 平成5年「ニッセイ名作劇場」が「企業メセナ協議会」から「メセナ賞」受賞

● 平成5年～「日生劇場ファミリーフェスティバル※」公演開始

※夏休みにご家族でさまざまな舞台芸術に触れていただく機会を提供(ニッセイ文化振興財団)

- 昭和4年 野球部創部
- 昭和29年 女子卓球部創部
- スポーツ教室開催(野球教室・卓球教室)

環境

● 平成4年～「ニッセイ100万本の植樹運動」開始

- 平成6年「第3回地球環境大賞産経新聞社賞」受賞

社会

● 昭和54年～「広かれ、元気っこ活動※」開始

※子育て支援・自然体験・伝統文化の伝承などの活動を行う民間団体に対する助成を実施(日本生命財団)



平成9年「広かれ、元気っこ活動」(大和町星空クラブ)



平成14年100万本植樹達成



昭和39年「ニッセイ名作劇場」第1回公演



●平成20年「ニッセイ名作劇場」招待児童数700万名達成

東日本大震災被災地域の子どもたちへの取組

- 平成23年～ 人形劇・クラシックコンサート開催
- 平成24年 震災復興ミュージカル「ゴーへ」開催
- 平成23年～ 被災地でのスポーツ教室開催

●平成14年100万本植樹達成(林野庁長官から感謝状受贈)

- 平成23年～ 被災地の森の育樹を実施
- 平成22年～ 「ニッセイ森の教室」・「ニッセイ森の探検隊」開始
- 平成23年～ 被災地での森林体験教室開催

●平成15年～ 「ドングリ学校※」開始

※小学校の授業として、ドングリから苗木を育て、公園への植樹を実施(ニッセイ緑の財団)

●平成21年～ マンガ「保険のひみつ」・教材「わたしの未来設計図」提供開始

●平成21年～ 「夏休み保険セミナー」開始

●平成23年～ 「出張授業」「受入授業」開始



平成20年「ニッセイ名作劇場」招待児童数700万名達成



平成21年「保険のひみつ」提供開始

社長メッセージ



みらいを創る子どもたちを応援しています。

これまで当社は、文化・スポーツ・環境などの分野で、子どもたちを支える社会貢献活動に継続的に取り組んできました。この活動は、子どもたちに自ら考え行動する自立心や人を思いやる心を磨き、将来を切り開く力を養ってほしいとの思いから実施してきました。

最近では、保険の大切さを伝える活動にも力を入れています。保険を通じて、自分の将来について考える機会を提供し、生きていく上でのリスクとは何かを知り、それに備えることの重要性を伝えています。また、東日本大震災以降、被災した地域の子どものためにもこれまでの取組を活かした活動を行っています。

このたび、こうした当社の取組をご紹介しますために、当冊子を制作いたしました。活動に参加した子どもたちが自らの発見や感動を素直に表現する姿に私たちはいつも胸を打たれます。そういった

子どもたちのひたむきさや大きな可能性を、少しでもお伝えすることができれば幸いです。

これからも当社は、社会のニーズ変化にも柔軟に対応し、みらいを創る子どもたちを支援するさまざまな社会貢献活動に息長く取り組んでまいります。そして、企業の社会的責任を果たし、お客様から揺るぎない信頼をいただけるように、努力し続けてまいります。

平成25年1月

代表取締役社長

筒井義信



平成24年4月より、自由に選べる11種類の保険で、ひとりひとりの人生にぴったり寄り添う保障をご提供できる商品「みらいのカタチ」を販売しています。



※組み合わせには所定の制限があります。

保障に加え、ご加入のご契約に応じて、医療や介護の専門家に相談できるサービス等も提供しています。

ベストドクターズ®・サービス ^{*1}

所定の疾患と診断確定された被保険者様に治療やセカンドオピニオンの取得に適した日本の医師をご紹介します。

※Best Doctors®およびベストドクターズは米国およびその他の国におけるBest Doctors, Inc.の商標です。

※*1*2は日本生命の提供する保険またはサービスではなく、提携会社が提供するサービスです。

※ベストドクターズ・サービス、ケア・ガイダンス・サービス、ずっともっとサービスの内容・詳細につきましては、ニッセイホームページまたは各「サービスのご案内パンフレット」をご覧ください。

ケア・ガイダンス・サービス ^{*2}

～介護に備える訪問相談サービス～

介護業界大手ニチイ学館の有資格者(ケアマネージャー等)が訪問し、将来の介護について相談をお受けします。

ずっともっとサービス

お客様やご家族の近況をお知らせいただく等のご協力に対し、様々なメニューで感謝の気持ちをお届けするとともに、保険金等のお支払をはじめ各種お手続きにおいて充実したサービスを提供いたします。

会社概要

名称	日本生命保険相互会社
本店所在地	〒541-8501 大阪市中央区今橋 3-5-12
代表取締役社長	筒井 義信
創立	明治 22 年（1889 年）7 月 4 日
従業員数	69,880 名
業務の概要	生命保険業 <ul style="list-style-type: none"> ●生命保険業免許に基づく保険の引受け ●資産の運用 <ul style="list-style-type: none"> ・貸付業務 ・有価証券投資業務 ・不動産投資業務 等 付随業務・その他の業務 <ul style="list-style-type: none"> ●他の保険会社その他金融業を行う者の業務の代理または事務の代行 ●債務の保証 ●証券投資信託受益証券の販売 ●確定拠出年金制度における運営管理業務
事業所	支社等 116 営業部 1,572 海外事務所 4 代理店* 11,391 *「代理店」には、銀行等の金融機関代理店等も含んでいます。
子会社等	保険および保険関連事業 9 社 資産運用関連事業 31 社 総務関連事業等 9 社

(平成 24 年度上半期末)

●総資産（平成 24 年度上半期末）

50兆 8,721億円

●基金・諸準備金等（平成 24 年度上半期末）

2兆 7,333億円

●格付け（平成 24 年 12 月 1 日現在）

R&I (保険金支払能力) **AA** S&P (保険財務力格付け) **A+**

<p>格付水準</p> <p>AAA AA A BBB BB B ⋮</p> <p>上位ほど保険金を支払う能力が高いとされています。</p>	<p>R&Iの定義「AA」</p> <p>http://www.r-i.co.jp</p> <p>保険金支払能力は極めて高く、優れた要素がある。</p> <p>S&Pの定義「A」</p> <p>http://www.standardandpoors.co.jp</p> <p>保険会社が保険契約債務を履行する能力は高いが、上位2つの格付けに比べ、事業環境が悪化した場合、その影響をやや受けやすい。</p>
--	---

格付けとは、第三者である格付会社が、保険会社の保険金を支払う能力等に対する確実性を評価したものです(保険金支払い等について保証を行うものではありません)。

※格付けは、取得日現在までの数値、情報に基づいており、将来的には変化することがあります。

※格付けは、詳細な情報に基づき、より適正に評価していただくため、当社が正式に依頼してR&I、S&Pから取得したものです。

※格付けに付加されているプラス記号(+)またはマイナス記号(-)は、それぞれ格付けカテゴリー内の相対的な強さを表します。

編集後記

この冊子は、当社のCSRへの取組のうち、子どもたちを支える社会貢献活動について、よりわかりやすくお伝えできるよう、写真を多く用いて編集しました。この他の取組や関連する詳細データについては、ウェブサイトに掲載していますので、どうぞご覧ください。

CSR推進室

日本生命 CSR

検索

クリック



「ニッセイCSRウェブサイト」CSRへの取組や関連する詳細データを掲載

生命保険のお手続きやお問い合わせにつきましては

〈ニッセイコールセンター〉0120-201-021 (通話料無料) 携帯電話・PHSからもご利用になれます。

受付時間 月～金曜日9:00～18:00 土曜日9:00～17:00 (祝日、12/31～1/3は除きます。)

※プライバシー保護のため、お問い合わせ・お申し出は契約者ご本人からお願いいたします。 ※お電話をいただく際には、証券記号番号または契約番号をお知らせください。

※ニッセイコールセンターへのお電話の内容は、当社業務の運営管理およびサービス充実等の観点から、録音させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

〈ニッセイホームページ〉<http://www.nissay.co.jp> ※ご住所の変更等のお手続きやご契約内容の照会、資料請求、ご相談等を受付けています。